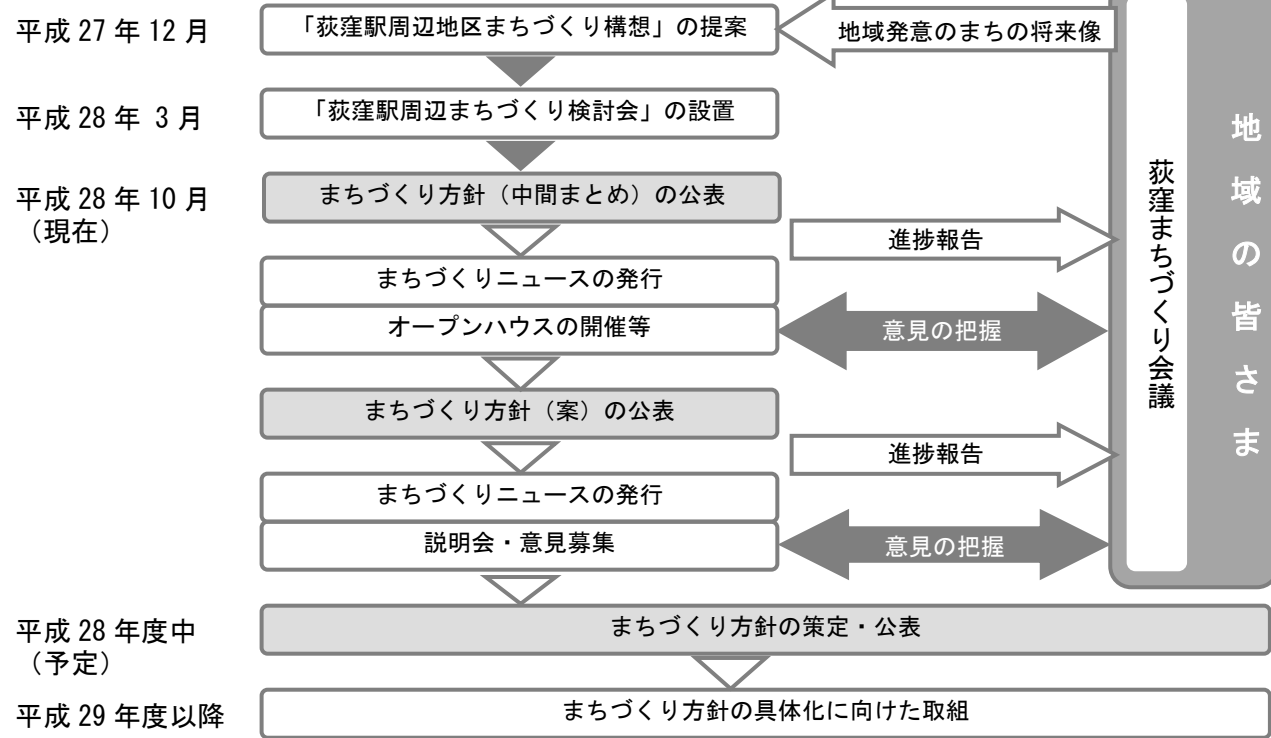


## ■まちづくり方針の策定プロセス

～まちづくり方針の策定は、以下のスケジュールで進めています～



## ■オープンハウスの日時・場所のご案内(全5回)

「まちづくり方針」の中間まとめについてご説明する「オープンハウス」\*を開催します。  
事前の申し込みは不要です。どなたでも参加可能ですのでぜひご来場ください。



※オープンハウス：会場に「中間まとめ」の資料を展示し、職員が説明するとともに皆さんから意見を伺います。  
なお、「中間まとめ」の詳細は、杉並区公式ホームページでもご覧いただけます。(トップページ-区政情報-都市整備-駅周辺まちづくり-荻窪駅周辺まちづくり-荻窪駅周辺まちづくり 報告書等 (平成24年～))

郷土博物館分館東棟 1階 (天沼3-23-1 天沼弁天池公園内)	荻窪駅北口駅前広場 (上荻1-6)	荻窪地域区民センター1階玄関ホール脇 (荻窪2-34-20)
11月5日(土) 11時～15時	11月6日(日) 11時～15時 11月7日(月) 11時～15時	11月18日(金) 16時～20時 11月19日(土) 11時～15時
	※屋外のため、荒天の際には、中止させて頂く場合があります。	

問い合わせ先 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1  
杉並区 都市整備部 まちづくり推進課 荻窪まちづくり担当  
TEL : 03-3312-2111 (内線 3382) FAX : 03-3312-2907

# 荻窪駅周辺 まちづくりニュース 創刊号

発行：平成28年10月

杉並区 都市整備部 まちづくり推進課

## まちづくり方針の検討を進めています！ オープンハウスを開催しますので、皆様のご意見をお聞かせください！

荻窪駅は区内最大の交通結節点である一方、駅前広場機能が必ずしも十分でないことや区内唯一のJR地上駅であることによる駅南北の商店街の分断、回遊性の不足などの課題を抱えています。そこで、平成24年に策定された杉並区基本構想に基づき、荻窪駅周辺まちづくりに取り組んでいます。

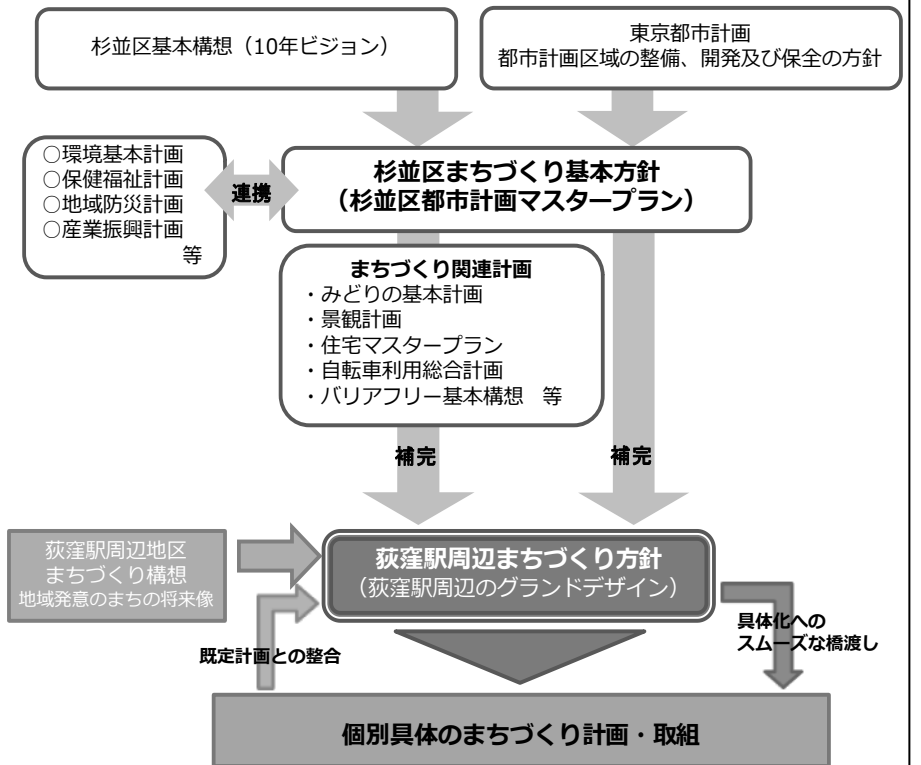
平成25年6月に地域の方々により「荻窪まちづくり会議」が設立され、平成27年12月に地域発意のまちの将来像として「荻窪駅周辺地区まちづくり構想」が杉並区に提案されました。

区では、この提案等を踏まえ、平成28年3月に庁内検討組織「荻窪駅周辺まちづくり検討会」を設置し、「荻窪駅周辺まちづくり方針」の策定に向けて検討を進めています。このたび、まちづくり方針の中間まとめを行いましたので、その概要をご紹介します。

また、11月5日(土)から中間まとめについて説明し、皆様のご意見をお聞きする「オープンハウス」を開催しますので、ぜひご参加ください。(詳しくは4ページをご覧ください。)

## ■荻窪駅周辺まちづくり方針とは？

- 既定の上位計画や関連計画等を前提とするとともに、『杉並区まちづくり基本方針(杉並区都市計画マスタープラン)』を補完するものとして策定します。
- まちの将来像と目標、その実現に向けた取組の方向性を明らかにする「荻窪駅周辺のグランドデザイン」として区民、事業者、行政が共有するものとします。
- 『杉並区まちづくり基本方針』にあわせ、概ね20年後の未来を視野に入れて策定します。
- 個別具体のまちづくり計画や取組への橋渡しになるものとします。
- 対象区域は、荻窪駅を中心とする半径500mを基本として、町丁目境や地形地物で区切った範囲とします。(2ページ図参照)



# 荻窪駅周辺まちづくり方針 中間まとめ【概要】

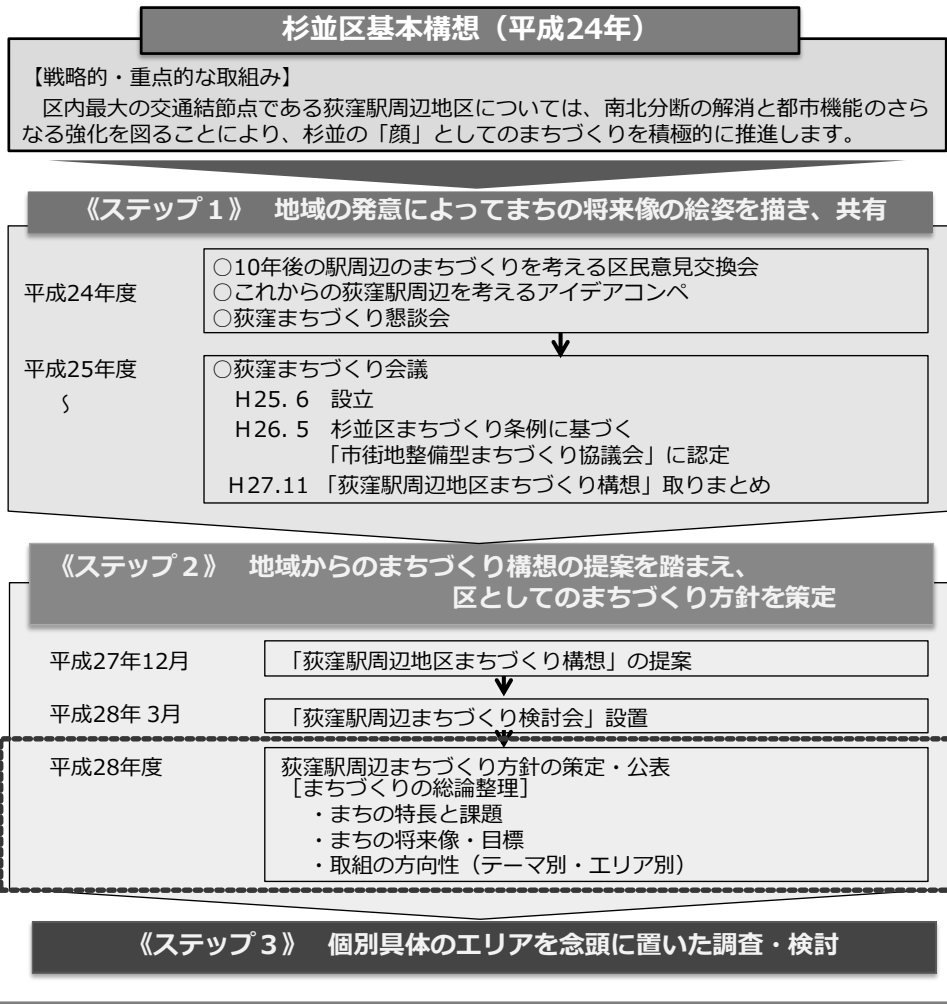
## ■策定の背景と目的

- 荻窪駅周辺は、区内最大の交通結節点であり、商業・業務、公共サービス、文化・教育などの都市機能が集積する杉並区の中心的な拠点となっています。
- 一方で、駅前広場機能が必ずしも十分でないことや区内唯一のJR地上駅であることによる駅南北の商店街の分断、回遊性の不足など、他のJR3駅と比べて都市の芯としての課題を抱えています。
- こうした現状のもと、杉並区が住宅都市としての価値をさらに高めていくため、その潜在能力を十分に活かした魅力的でにぎわいのあるまちづくりを推進していくことが求められています。

地域発意によるまちの将来像が「荻窪駅周辺地区まちづくり構想」として、平成27年12月、区に提案されました。

荻窪駅周辺のまちの特長・課題を踏まえ、まちの動向や社会経済状況の変化に対応しながら、区民・事業者・行政が一体となって戦略的・計画的にまちづくりを推進していくため、まちの将来像と目標、その実現に向けた取組の方向性を明らかにする「まちづくり方針」を策定します。

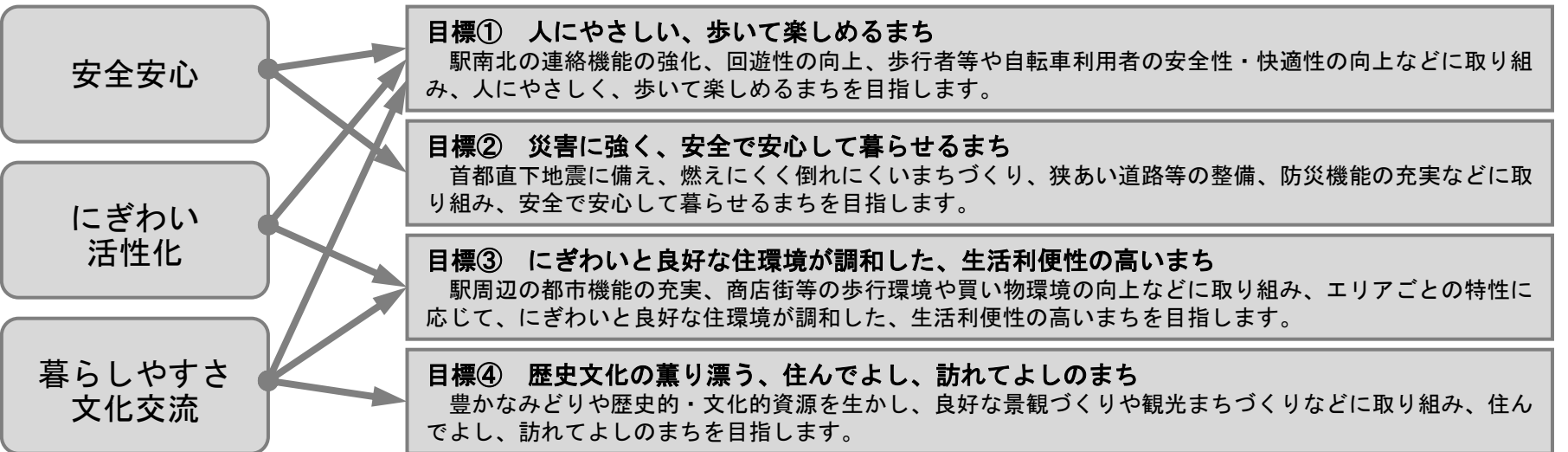
## ●荻窪駅周辺まちづくりの流れ



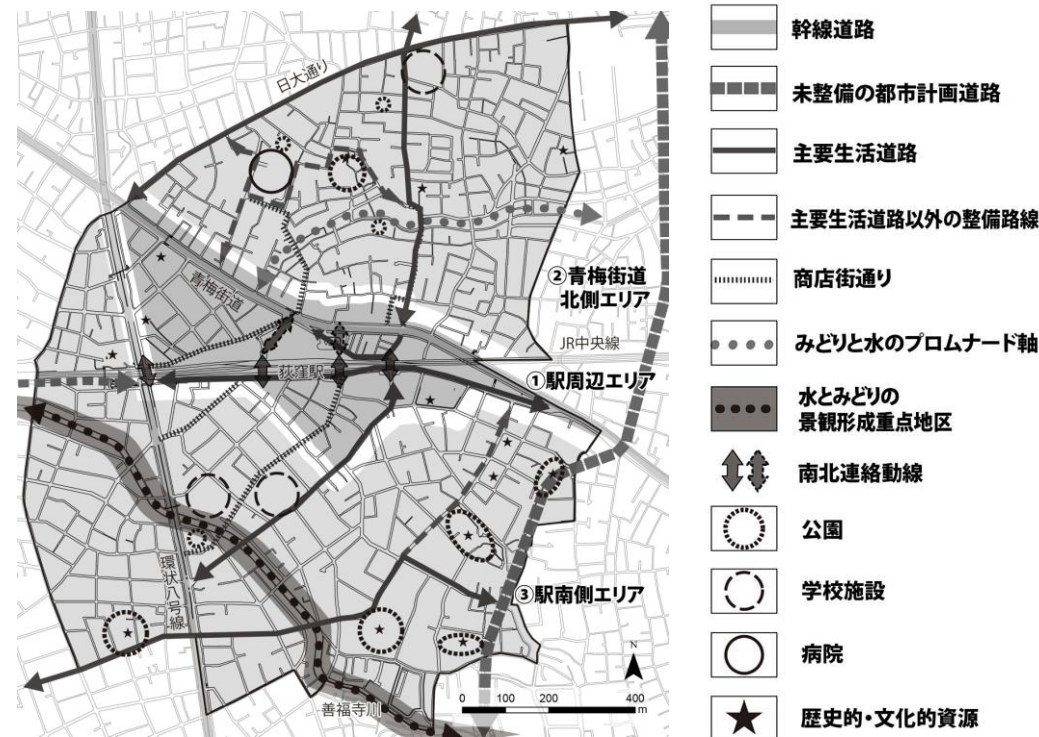
## ■まちの将来像・目標

### 将来像 - 住宅都市杉並の芯として 歴史文化を礎に にぎわいと住環境が調和したまち -

荻窪駅周辺は、区内最大の交通結節点であり、商業・業務、公共サービス、文化・教育などの都市機能が集積した、杉並を代表するにぎわいの中心（都市活性化拠点）です。また、歴史的・文化的資源が数多く点在し、みどり豊かな住環境が広がる、住宅都市杉並を代表するまちです。課題である駅南北の連絡機能の強化や回遊性の向上、防災性の向上などに、ハード・ソフトの両面から取り組むことにより、その魅力を更に高め、にぎわいと住環境が調和し、住み続けたい、訪れたいまちを目指します。



## ■エリア別の取組の方向性



※対象区域  
荻窪駅を中心とする半径500mの範囲を基本として、町丁目境や地形地物で区切った上図の範囲を対象区域とします。  
●区内最大の交通結節点として、広域的な位置づけを含めて検討し、策定します。  
●駅勢圏等を踏まえ、周辺地域との関係性に十分留意して策定します。

### 【①駅周辺エリア】

- 多様な都市機能の高度な集積により、住宅都市杉並の芯にふさわしいにぎわいの創出と魅力の向上を図ります。 <<目標①③>>
- ハード・ソフト両面からの南北連絡動線や駅前広場機能の充実により、回遊性や災害時を含む滞留機能の向上を図ります。 <<目標①②③>>

### 【②青梅街道北側エリア】

- 木造密度の高い住宅地の防災性の向上を図るとともに、住環境とにぎわいや健康・福祉の拠点が共存し、多世代が健康で安心して暮らせるまちづくりを進めます。 <<目標①②③>>

### 【③駅南側エリア】

- みどり豊かで良好な住環境や景観を保全・育成しつつ、駅から住宅地へと続く身近な商店街の維持・創出を図ります。 <<目標①③>>
- 歴史的・文化的資源の集積を生かし、区民や来街者が歩いて楽しめることができるよう、住宅都市としての観光まちづくりを進めます。 <<目標①④>>